

令和 3 年 度
相 生 市 行 政 評 価
第三者評価報告書

令和 3 年 9 月

相生市行政評価第三者評価委員会

目 次

1	目的・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	委員構成・・・・・・・・	1
3	委員会開催状況・・・・・・・・	1
4	評価対象・・・・・・・・	2
5	評価視点・・・・・・・・	3
6	評価結果に対する総括・・・・・・・・	4
7	評価ヒアリングシート・・・・・・・・	5
8	評価対象事業 結果比較・・・・・・・・	1 2

1 目的

行政評価をより一層、客観性及び信頼性を高めるため、外部委員による専門的な観点からの意見及びサービスの受け手としての市民からの意見等を、提言することを目的として第三者評価を実施いたしました。

2 委員構成

	氏 名	摘 要	住 所
委員長	横山 直子	大阪産業大学経済学部 教授	神戸市
副委員長	山本 康善	公認会計士	姫路市
委 員	森下 博和	相生商工会議所 専務理事	相生市
委 員	川上 栄次郎	相生市連合自治会副会長	相生市
委 員	高根 勝三	教育関係者	相生市
委 員	中岡 敏代	公募委員	相生市

3 委員会開催状況

開 催 日	会 議 名 等	主 な 内 容
令和3年7月30日（金） 13：30～16：00	令和3年度第1回 相生市行政評価第三者評価委員会	行政評価ヒアリング （ 2 事 業 ）
令和3年8月 2日（月） 13：30～16：30	令和3年度第2回 相生市行政評価第三者評価委員会	行政評価ヒアリング （ 3 事 業 ）
令和3年8月 6日（金） 13：30～16：00	令和3年度第3回 相生市行政評価第三者評価委員会	行政評価ヒアリング （ 2 事 業 ）

4 評価対象

ヒアリングの対象は、次の基準により事務局において選出した下記の7事業を対象といたしました。

◎平成29・30年度開始新規事業を含む効果検証事業（6事業）

◎地方創生拠点整備交付金対象事業（1事業）

令和3年度第三者評価対象事業

事務事業名	部 課（室）名
相生市観・交・商連携型地域活性化事業	市民生活部地域振興課
子育て世代包括支援センター事業	健康福祉部子育て元気課
定住促進住宅管理事業	建設農林部建設管理課
有害鳥獣対策事業	建設農林部農林水産課
相生市奨学金事業	教育委員会管理課
クラブ活動運営事業	教育委員会学校教育課
公民館活動事業	教育委員会生涯学習課
7 事務事業	

5 評価視点

下記の具体的視点により評価を行いました。

(1) 成果の視点

- ・評価指標の設定は妥当か、関連性があるか。
- ・指標設定が困難な場合において、最適なものを代替指標としているか。

(2) 妥当性の視点

- ・市が実施する目的は明確か、国・県や民間等との役割分担の観点から、当該事務事業を市が行う妥当性・必要性はあるか。
- ・市民ニーズは高いか。

(3) 有効性の視点

- ・評価指標の数値は計画値を達成しているか。
- ・計画・目標設定が高すぎないか、あるいは低すぎないか。
- ・成果を向上させる努力をしているか、向上させる方法はあるか。
- ・市民サービス向上の改革改善効果が見られるか。

(4) 効率性の視点

- ・コストを削減する努力をしているか、削減する余地はあるか。
- ・受益者負担の設定は可能か、見直しする余地はあるか。
- ・委託や指定管理者制度の導入、補助事業化など、サービスを下げずに、よりコストの低い手段へ事業形式を変更できる可能性はあるか。
- ・当該事務事業が個別目標・施策実現のための手段として最適か。

(5) 総合、方向性の視点

- ・過去の行政評価結果が生かされて、PDCAサイクルが機能しているか。
- ・課題・懸案事項に対する今後の展開方針は妥当か。
- ・今後に向けての成果向上や経費削減など、具体的方策は妥当か。

(6) 地方創生の視点

- ・数値目標は妥当か。
- ・目標達成のための手段が適切に講じられているか。また、その見込みがあるか。
- ・地方創生への効果が期待できるか。

6 評価結果に対する総括

本委員会（行政評価第三者評価委員会）において、令和3年度は、7事務事業についてヒアリングを実施し、第三者評価をおこなった。各事業について、およそ50分ずつのヒアリングであったが、今回のヒアリングでは、予定時間の50分では足りないくらい活発な質疑応答になるものもあった。ヒアリング全体として、こちらから質問した内容に対して、誠意をもって丁寧にお答えいただくことができたという点については高く評価したい。その一方で、いくつか改良した方がよいといえる点もみられた。今回の事務事業のヒアリング実施から、今後に向けてさらに工夫し、改善すべきである点について以下に示すこととする。

第一に、評価にとって重要な「指標」についてである。特に有効性と効率性に関する指標については、今一度、検討すべきであるものがいくつもみられた。そもそも有効性や効率性とは何か、そしてそれらの指標がなぜ重要なのかを重ねて熟考していただき、適切な指標を設定すべきである。有効性や効率性の指標が適正なものからあまりにもかけ離れているとすれば、有効性や効率性を重視していないと読み取られてしまいかねないため注意が必要である。

第二に、目的を明確にし、また目標をしっかりと適切に設定することの重要性についてである。目的を達成するために、当該事業が年々どのような貢献をしているのか見えにくい面があった。目標を明確にしていなければ達成すること自体できにくいことにつながり、目標が適切でなければ目的を達成することにつながらない場合もあるので、計画段階からしっかり留意する必要がある。またこのことは、アウトカムを正確に把握していない場合に生じる問題でもあるため、必ずアウトカムについても的確に明示することが重要である。

第三に、上記第二の点に関連して、それぞれの事業がどのような役割を果たしているかを明確にすべきである。各事業が、大きな目標また長期的な目標達成のためにどのような役割を果たしているのかをわかりやすく明示するようにすれば、「この事業のこの取り組みが、この大きな目標達成に貢献できるのだ」とわかり、意欲や張り合いが出るとともに、一方で解決すべき問題も見つかりやすいといえる。繰り返しになるが、アウトカムを正確に測定していくことも同様の効果が期待できる。

第四に、評価シートの記述についてである。どんなに素晴らしいといえる事業であっても、よりよくするための改善点は存在しているはずである。評価に関するシートに今後の改善点等がぎっしりと記入されていない場合には、現状に甘んじているようにも見られる可能性があり、熟慮している様子も伝わらないといえる。議論して今後について改善策を出し合っている様子を率直に表現するためにも、評価に関するシートに多くの記述がある方が、より意欲が伝わるといえる。

相生市行政評価第三者評価委員会
委員長 横山 直子

7 評価ヒアリングシート

事務事業名	相生市観・交・商連携型地域活性化事業
評価結果	☒ 継続 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止
【評価理由】 観光・交通・商業が連携し、地域の活性化を図ることを目的とする本事業は、「あいおい情報ラウンジ」を起点とした、にぎわいづくりという観点では効果があると考えられるため、継続とする。 今後はさらに、産業・商業にも視点を置き、駅前だけでなく市全体の活性化にどのような効果をもたらすか検証いただきたい。 なお、新型コロナウイルス感染症への対応については、引き続き、連携団体と情報共有し、状況把握に努めていただきたい。 《指摘事項》 ○事業の意図を整理し、産業・地域の活性化の効果を示す具体的なアウトカム指標を設定し、分析すること。 ○ラウンジ利用者へアンケート調査を実施し、ニーズの把握に努めること。	

事務事業名	子育て世代包括支援センター事業
評価結果	☒ 継続 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止
【評価理由】 妊娠期から子育て期への切れ目のない支援を行うことは、市民が安心かつ安定した生活を送るために重要であり、センターへの相談者数も増加傾向にあることから、市民ニーズが高く、妥当性も高いと判断し、継続とする。 相生市の目指す「子育て応援都市」として、より有能的で特徴的な事業を展開するとともに、他自治体と比べて優位性のある事業については、PRに努めていただきたい。 《指摘事項》 ○活動実績について再考すること。 ○人数を把握する場合は、「延べ数」ではなく「実数」も把握すること。 ○シートの目標数値は前年度比だけでなく、しっかりと事業の目的を整理した上で設定すること。 ○有効性の指標は、アウトカムを考慮したものを検討すること。 ○効率性のコスト節減については内容を見直し、実効性のあるものにすること。 ○工夫して実施していることがあれば、シートに示すこと。	

事務事業名	定住促進住宅管理事業
評価結果	☒ 継続 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止
【評価理由】 市内への定住を促進するため、市が住居を提供する本事業は一定の効果はあるものの、ニーズがやや低いように思われるため、入居状況の把握・分析、費用対効果を意識した維持管理に努めながら継続する必要がある。 また、入居率を上げることは課題のひとつであり、家賃設定の見直しや外国人（技能実習生）の積極的な受入など、抜本的な手法を検討いただきたい。 《指摘事項》 ○入居率を上げるためのPR方法について検討すること。 ○費用対効果を考え、魅力ある住居について検討すること。	

事務事業名	有害鳥獣対策事業
評価結果	☒ 継続 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止
【評価理由】 猟友会と連携し、有害鳥獣駆除や各種防護事業を行うことで、農地や農作物被害の減少に繋がる有効な事業と言えるため、継続とする。 一方で、有害鳥獣の捕獲数と農作物被害額との相関がはっきりしていないため、目標数をしっかりと設定し、達成に向けた策を検討いただきたい。 また、本事業は有害鳥獣の駆除、捕獲が目的ではなく、自然環境の保全であることを踏まえ、共存できる適正なバランスの維持に努めていただきたい。 《指摘事項》 ○事業の目的を整理すること。 ○有効性・効率性の指標について再考すること（農作物被害額ではなく、基準時点からの被害額減少率など）	

事務事業名	相生市奨学金事業
評価結果	☒ 継続 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止
【評価理由】 教育を受ける機会を確保するための学資援助を行う本事業は一定のニーズがあり、妥当性も高いと判断し、継続とする。 また、認定の際に、生活環境だけではなく、成績基準を設けている点も評価できる。引き続き、制度の周知について学校と連携を図り、保護者生徒への積極的なアプローチに努めていただきたい。 さらに、奨学金を活用した生徒に進学後の状況については、追跡調査の実施を検討いただきたい。 《指摘事項》 ○有効性・効率性の指標について再考すること。	

事務事業名	クラブ活動運営事業
評価結果	☒ 継続 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止
【評価理由】 部活動は、生徒の協調性・社会性を養うための活動のひとつであり、部活動指導員の配置により、安全な部活動の実施と技術面の向上に繋がっていると考えられるため、継続とする。 一方で、部活動加入率の低下や3中学校の部活動の実情等を含め課題も見られる。本来の部活動を行う目的を整理し、目的が達成されるよう現状の把握・分析に努めていただきたい。 《指摘事項》 ○本事業の目的を整理すること。 ○部活動指導員の配置については、教職員だけでなく、生徒に対してもアンケートを行うこと。	

事務事業名	公民館活動事業
評価結果	☒ 継続 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止
【評価理由】 生涯学習・コミュニティ活動の場として公民館は必要な施設であるが、本事業の目的・意図がどこにあるかを再度明確にした上で、継続すべきである。 今後は、利用者はもちろん、未利用者も含めたニーズの把握に努めるとともに、満足度も調査しながら利用者増を図り、各講座をはじめ、様々な創意ある事業を実施することで、公民館活動の本来の目的達成に繋げていただきたい。 《指摘事項》 ○事業を整理した上で、有効性・効率性の指標について再考すること。 ○人数を把握する場合は、「延べ数」ではなく「実数」も把握すること。 ○講座参加者の自己負担額について、不参加者との間に公平性が保たれるよう、検討すること。 ○講座の受講率を上げる工夫をすること。	

8 評価対象事業 結果比較

方 向 性	担当課	行革推進委員会	第三者評価委員会
拡 大	—	—	—
継 続	7	7	7
縮 小	—	—	—
廃 止	—	—	—
合 計	7	7	7

事 務 事 業 名	担当課	行政改革 推進委員会	第三者 評価委員会
相生市観・交・商連携型地域活性化事業	継 続	継 続	継 続
子育て世代包括支援センター事業	継 続	継 続	継 続
定住促進住宅管理事業	継 続	継 続	継 続
有害鳥獣対策事業	継 続	継 続	継 続
相生市奨学金事業	継 続	継 続	継 続
クラブ活動運営事業	継 続	継 続	継 続
公民館活動事業	継 続	継 続	継 続